

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント  
In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage

講演×『五郎正宗孝子伝』  
「デジタル復元版」特別上映

SAWAMURA Shirogoro,  
The Great Star of Early Period Films  
Lectures and a Special Screening of  
*Goromasamune Koshiden*  
[Digitally Restored]

声色掛け合い・和洋合奏



# 旧劇映画の大スター 澤村四郎五郎 再考

2023年10月14日[土] 15:00-17:20(14:30開場) ※開会後の入場はできません。

会場: 国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU

料金: 一般1,050円 / 高校・大学生・65歳以上840円 / 小・中学生600円 / 障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)無料

国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ 教職員500円・学生400円

定員: 310席(定員制、全席指定席) 主催: 国立映画アーカイブ

国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)を記念し、日本初の映画スター尾上松之助と人気・実力ともに双璧をなした大正時代の映画スター澤村四郎五郎を再評価する特別イベントを開催します。

歌舞伎役者から転身した四郎五郎の映画は、松之助映画と同様に歌舞伎や立川文庫に材を得ながら、映像美とトリック撮影や美術の技巧、義太夫なども活かした情感表現で高い評価と人気を誇りましたが、1924年に映画界を去って以後は、旧劇映画で、現存作もわずかなため、歴史的に顧みられることは少なくなっています。

本イベントでは、専門家による講演と、当館所蔵の澤村四郎五郎コレクションの台本と照合してデジタル復元した『五郎正宗孝子伝』(1915年)を、和洋合奏と同台本に基づく声色掛け合いでお披露目上映します。知られざる日本映画の歴史と、歴史的かつ文化的遺産である映画・映像のアーカイブの活動への理解を深める機会として、ご来場下さい。

# 旧劇映画の大スター 澤村四郎五郎再考

【声色掛け合い・和洋合奏】

講演×『五郎正宗孝子伝』[デジタル復元版] 特別上映

2023年10月14日[土] 15:00-17:20(14:30開場)  
※開会後の入場はできません。

SAWAMURA Shirogoro, The Great Star of Early Period Films  
Lectures and a Special Screening of Goromasamune Koshiden [Digitally Restored]

## ●プログラム

15:00 開会

講演 「歌舞伎役者としての澤村四郎五郎」

児玉竜一(早稲田大学文学学術院教授)

【ビデオレクチャー】

「澤村四郎五郎 あるいは旧劇映画のアンチヒーロー像」

小松弘(早稲田大学文学学術院教授)



『女忍術』1917、天活

16:00 『五郎正宗孝子伝』[デジタル復元版] 声色掛け合い・和洋合奏特別上映(本篇72分)

1915(天活)(監)吉野二郎(脚)桂田阿彌笠(撮)枝正義郎(出)澤村四郎五郎、中村吉三郎、市川蓮十郎、澤村國丸(後の小川国松)現存する澤村四郎五郎出演作2本(1本は『日蓮上人 龍乃口法難』)のうち、本作は、四郎五郎が名を伏せて出演した天活作品。当時浪曲で人気があった「五郎正宗」は各社で映画化されたが、本作には天活旧派映画の吉野二郎・桂田阿彌笠・枝正義郎チームの特徴と、後に四郎五郎一座と言われる俳優たちとのコンビネーションが遺憾なく発揮されている。特に、五郎の雪中の水行シーンは、義太夫芝居となっており、歌舞伎名題役者の出演を謳った天活旧派映画の見せ場の一つ。



17:20 終了

## ●声色掛け合い



澤登翠/活動写真弁士

1972年故松田春翠に入門。弁士の第一人者として国内外の公演を通して幅広い世代に活弁の魅力を伝えていく。文化庁映画賞・松尾芸能賞特別賞他数々の賞を受賞。2015年『文藝春秋』に掲載の「日本を代表する女性120人」にも選出。



片岡一郎/活動写真弁士

2002年に澤登翠に入門。22か国で公演、350作品以上手がける。行定勲監督『春の雪』、奥田民生のパンフレットDVD、「いでん」にも出演。周防正行監督『カツベン!』では出演、指導、時代考証で参加。『活動写真弁士』を共和国より刊行。



樽澤賢一/活動写真弁士

澤登翠門下。2020年7月、無声映画鑑賞会でデビュー。声優として外国映画の吹替、キネコ国際映画祭で活動している。また下北沢映画祭では、授賞式のMCを担当している。

## ●和洋合奏



湯浅ジョウイチ/作曲・編曲、三味線

1987年、東京国際映画祭でD・W・グリフィスの『国民の創生』の楽士を担当後、無声映画用音楽の復元や作・編曲等を行い、和洋楽団カラード・モノトーンを結成。作・編曲・指揮の他、ギターや三味線も演奏する。



鈴木真紀子/フルート

桐朋学園大学音楽学部卒。フルートを峰岸壮一氏に師事。和洋楽団カラード・モノトーンの主要メンバー、芹洋子のアコースティックバンドメンバーとして活動。東洋英和女学院、順天堂大学交響楽団でフルート指導にあたる。



多田恵子/打楽器

東京藝術大学別科邦楽雑子専攻修了。オーケストラ・室内楽を中心に活動。コンサート、オペラ、ミュージカルの他、創作歌舞伎、テレビやラジオ、様々なジャンルのレコーディング等に参加。邦楽器オーケストラ日本音楽集団メンバー。



藤高りえ子/筑前琵琶

古典や現代邦楽の演奏活動を行いながら、オリジナル作品の創作にも力を注ぐ。弾き語りソロライブ、学校公演、アンサンブル演奏、他ジャンルとのコラボレーションや即興パフォーマンスも行う。日本音楽集団の団員。

## 澤村四郎五郎(さわむら しろうごろう/1877-1932)



東京・馬喰町生まれ。三代中村福助門下から1901年に澤村訥子の門弟となり、宗之助の後見として國之助の名で帝国劇場他に多数出演。1914年に五代目澤村四郎五郎を襲名。帝劇出演の間に天然色活動写真株式会社(天活)の旧派映画(時代劇)に匿名の主題役者として多数主演後、1916年に名を明かして天活専属の映画俳優に転身。所作も美しいスラリとした二枚目で人気を博す。1921年に松竹へ移るが、欧米映画のスタイルに日本映画が変わり、歌舞伎などの影響が濃厚な「旧劇映画」は衰退。1924年に映画界を去り、四郎五郎一座で各地を巡演した。

## ●チケット販売と入場方法

オンライン販売 9月28日正午から開会15分前まで\*当館HPから販売します。

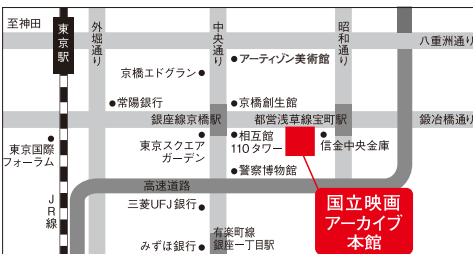
窓口販売 開会1時間前から5分前まで若干数(座席選択不可)

- 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- 学生、65歳以上、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。
- 窓口でご購入いただける当日券は1名につき1枚のみです。
- 入場時に、QRコードをスマホ画面または印刷したものでご提示ください(ご提示がない場合は入場できません)。

## ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)

映画フィルム、テレビ番組、様々な録音・録画物などの視聴覚遺産を保存し安全保護する事業や活動を推進し、その重要性を啓蒙するために、ユネスコが2006年に定めた国際記念日。ユネスコに属する視聴覚保存機関連絡協議会(CCAAA)での決定を受けて2007年から世界で実施されている。なお、10月27日は、1980年ベオグラードで「映像の保護及び保存に関するユネスコ勧告」が採択された日。国立映画アーカイブが加盟している国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)でも、連盟をあげてこの日を祝うことを決定し、世界中の会員機関が記念イベントなどの事業に取り組んでいる。

fiaf



## ●会場

〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6

- 交通: ○東京メトロ銀座線京橋駅出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
○都営地下鉄浅草線宝町駅出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
○東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口7より徒歩5分  
○JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル050-5541-8600

NFAJホームページ: [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan



長瀬映像文化財団 国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。